

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	厚木金田物流センター開発計画B区画	階数	地上2F
建設地	神奈川県厚木市金田字新神明下14	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	179人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年8月 0.0	評価の実施日	2011年12月20日
敷地面積	17,199 m <sup>2</sup>	作成者	(株)フジター級建築士事務所
建築面積	9,001 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	16,456 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 建設: 100%  
 構築・更新・解体: 93%  
 運用: 93%  
 オンサイト: 93%  
 オフサイト: 93%

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>建物を敷地中央に配置し、敷地周囲に緑地を確保した。</li> <li>倉庫の荷捌きは高速道路側に配置し、相模川に面した外壁はシンプルな壁面とした。</li> <li>倉庫は十分な階高さ、床荷重を持たせて、長く使用できる建物とした。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>かつての水田が、土砂捨て場になっていた土地を開発行為で整備し、建物を新築する。</li> <li>相模川沿いの景観の修景に協力する。</li> </ul>
<b>Q1 室内環境</b> (倉庫のため、評価対象外)	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>倉庫として十分な階高さや積載荷重、空間のゆとりを確保。</li> <li>乾式の防火区画壁により、フレキシビリティを高めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物を敷地中央に寄せ、敷地周囲に緑地を確保した。</li> <li>敷地境界沿いは中木を列植して、車輛を隠すよう配慮した。</li> </ul>
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>倉庫照明を高効率Hf蛍光灯を採用、CEC値を低減。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水機器を使用。</li> <li>雨水の浸透貯留水槽を設置している。</li> <li>仕上りにリサイクル材を使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲に影響を与えないよう協議し、交通を計画。</li> <li>周辺農地に配慮して外構照明を配置。</li> </ul>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q:** Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい